



2026年6月3日

各 位

会 社 名 株式会社セイワホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 野見山 勇大
(コード番号：523A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役副社長 井川 径成
(TEL：052-265-8467)

**当社連結子会社による三鷹金属工業株式会社の
金属表面処理（めっき）事業の譲受に関するお知らせ**

当社は、当社グループの中核企業である株式会社富士鍍金工業所（以下、「富士鍍金工業所」）を譲受人として、三鷹金属工業株式会社（本社：愛知県あま市、代表取締役社長：中西蔵人、以下「三鷹金属工業」）の金属表面処理（めっき）事業を譲り受けること（以下、「本事業譲受」）について、決議いたしましたことを、以下のとおりお知らせいたします。

なお、本件については、株式会社東京証券取引所が定める「事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け」にかかる適時開示軽微基準の範囲内であり、任意で開示するものであることから、一部事項について記載を省略しております。

記

1. 本事業譲受の理由

当社グループは、「たたむにはもったいない中小企業を受け継ぎ、選ばれ続けるモノづくりグループをつくる」ことを理念に掲げ、モノづくりネットワークを通じて、「期待を超える提案」「安全で働きがいのある職場づくり」「長年培われた思い、技術の伝承」の実現を目指しております。

このたび、当社グループの中核企業である富士鍍金工業所の事業拡大の一環として、三鷹金属工業のめっき事業を譲り受けることといたしました。三鷹金属工業は、大型めっき設備を保有し、多数の生産ラインを有する企業であります。近年は、人員不足や追加投資余力の制約により同社の設備稼働率が低下していましたが、富士鍍金工業所が当該事業を迎え入れ、積極的な人材採用及び設備投資を推進することで、富士鍍金工業所の製造キャパシティを約35%増加できる見込みであります。

富士鍍金工業所は主に半導体関連部品向けのめっきを手掛けており、今後想定される半導体需要の拡大に対して、本件は極めて有効な生産基盤強化になると判断しております。また、三鷹金属工業が長年にわたり築いてきた電力、社会インフラ向け設備を手掛ける大手産業機器メーカーを中心とする安定した顧客基盤を取り込める点も、大きな意義があるものと考えております。

さらに、当該エリア 30 km 圏内には、富士鍍金工業所犬山工場、各務原工場、並びに当社グループ会社の東栄コーティング株式会社が所在しており、共同営業や共同配送等を通じて高いシナジー効果を発揮できると見込んでおります。加えて、名古屋エリアにおけるさらなる営業基盤拡大にも寄与する重要な拠点になるものと考えております。

2. 本事業譲受の概要

(1) 本事業譲受の内容

三鷹金属工業が営む金属表面処理（めっき）事業

(2) 本事業譲受の対象となる資産・負債の項目及び金額

本事業譲受の対象となる資産・負債の項目及び金額は現在精査中です。本事業譲受の対象となる資産及び負債の内容は、対象事業に属する資産及び負債のうち双方で合意したものとなります。

(3) 譲受価額及び決済方法

譲受価額につきましては公表を控えさせていただきます。なお、譲受価額につきましては、株式会社東京証券取引所が定める「事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け」にかかる適時開示軽微基準の範囲内であります。

決済方法につきましては、事業譲受日にて手元現預金による現金決済を予定しております。

3. 本事業譲受を行う連結子会社の概要

(1) 名 称	株式会社富士鍍金工業所
(2) 所 在 地	愛知県犬山市大字犬山字西馬場先 12- 1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野見山 勇大
(4) 事 業 内 容	金属表面処理（めっき）事業
(5) 資 本 金	10 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2022 年（令和 4 年） 6 月 9 日（1955 年 1 月創業）
(7) 持 分 比 率	株式会社セイワホールディングス：100%（間接所有）

4. 相手先の概要

(1) 名 称	三鷹金属工業株式会社	
(2) 所 在 地	愛知県あま市中橋宮前 63	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中西 蔵人	
(4) 事 業 内 容	金属加工（製缶板金）、金属表面処理（めっき）、太陽光発電システム設置工事・販売	
(5) 資 本 金	20 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	1949 年（昭和 24 年） 3 月 4 日	
(7) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当なし
	人 的 関 係	該当なし
	取 引 関 係	該当なし
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当なし

5. 本事業譲受の日程

(1) 決 議 日	2026 年 6 月 3 日
(2) 契 約 締 結 日	2026 年 6 月 3 日
(3) 取 引 実 行 日	2026 年 6 月 19 日（予定）

6. 会計処理の概要

本事業譲受は、国際会計基準における企業統合に該当する見込みです。この処理に伴い負ののれんが発生する見込みではありますが、発生する金額は現時点では確定しておりません。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

7. 今後の見通し

本件に伴う当社の2027年5月期連結業績及び財務状況に与える影響につきましては、軽微であると見込んでおりますが、事業の大幅な状況変化により財務的影響が生じる場合には、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

以 上

株式会社セイワホールディングス

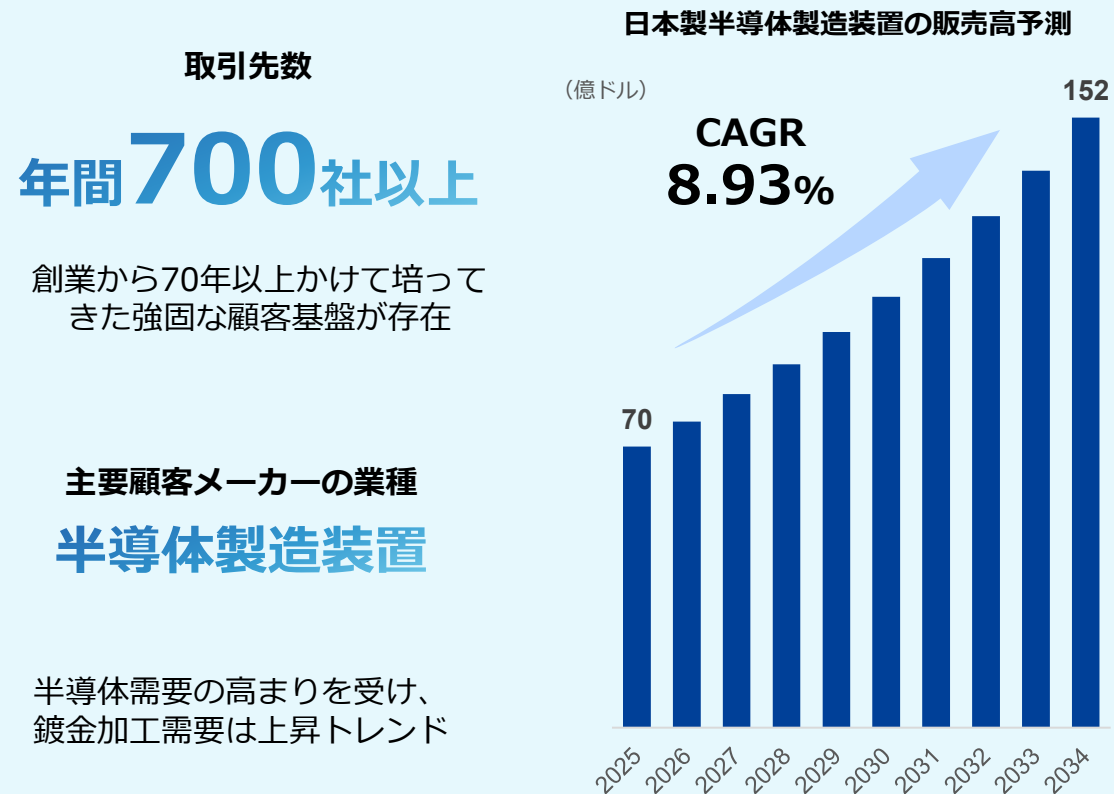
三鷹金属工業株式会社からの事業譲受に 関する補足説明資料

証券コード：523A（東証グロース市場）

富士鍍金工業所の概要



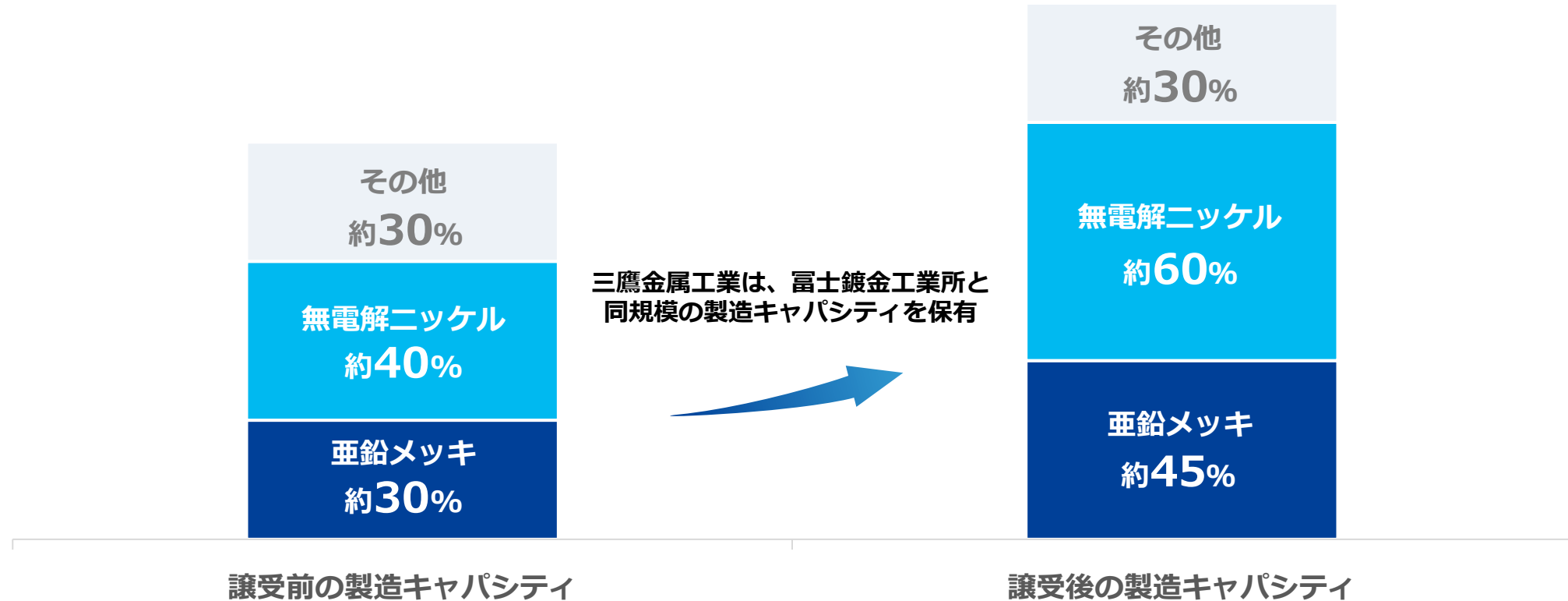
会社名	株式会社富士鍍金工業所
創業	1955年1月
資本金	1,000万円
国内工場	本社工場(犬山市) / 各務原工場
従業員数	53名 (2026年5月末現在)
事業内容	金属鍍金加工 (主に半導体製造装置、産業用機械向け)
主要取引先	村田機械(株) / CKD(株) / (株)ダイフク向けサプライヤー
許認可	毒物劇物取扱責任者 水質関係第二種公害防止管理者



製造キャパシティの増強

今回の三鷹金属工業からの鍍金事業譲り受けにより、製造キャパシティ増加を見込む

製造キャパシティを
約**35%**増加できる見込み



名古屋エリアへの進出

同一業種かつ弊社グループ会社の東栄コーティング及び富士鍍金工業所の各工場から**30km圏内に位置**するため、**共同営業**や**共同配送**等を通じたシナジー効果の発揮が期待される。

また、三鷹金属工業は名古屋市近郊に位置することから、今後の**名古屋エリアにおける営業基盤拡大**にも寄与することが期待される。

